

各学科・サークルから

実施報告

和太鼓部

北海道・石狩太鼓合宿

—和太鼓を通して世代間交流！—

石狩地方

春休み期間を使い、北海道合宿を実施。代々交流のある石狩太鼓同好会の方々から、直接指導を受ける。練習メニューは一日約5時間ほど。その中で同じ音を連続して叩き続けるコツや、手首や腕の滑らかな動かし方を教えていただいた。石狩太鼓は石狩川の流れを表現していて、とめどなく流れていく疾走感と、その中にある強弱を大切にしているように感じた。現在、石狩地方は農業の後継者が少なく、若い人は都市部に出てしまうとのこと。そのため、同好会を支える後継者も減り、同好会の方々には、私たちが石狩を訪れるのを毎回楽しみにしてくださっているようだ。また、和太鼓演奏以外にも北海道ならではの食や遊びを体験させていただいた。同好会の方々の優しさや北海道の風土に触れ、気持ちがゆったりと大きくなった。(人間発達心理学科 3年 蔦木 加奈)



メディアコミュニケーション学科 松永教授 ゼミ学生

九州で地域活性化のお手伝い、小川町支援も継続

8月上旬、松永ゼミ3年生7名が、鹿児島市の観光スポットや観光案内所、買い物店などを訪れ、そこで用いられる方言コミュニケーションを調査した。首都圏の女子大学生が感じた鹿児島方言の観光資源としての価値について、鹿児島市の観光に関わる皆さんと一緒に考えることができた。

(メディアコミュニケーション学科 3年 松本 奈美)

鹿児島の際は宮崎県日南市南郷町へ。同町内に民泊をし、地元の方に地域活性化に関するニーズをインタビューした。調査結果は、地元の方々35名を前に発表。同町の魅力や課題、町がもっとワクワク楽しくするためのプロジェクトについてプレゼンを行った。今後も、新たなコミュニケーション創成のお手伝いを行いたい。

(メディアコミュニケーション学科 3年 和泉 紗綾)



- ★★
- ★松永ゼミの小川町支援は今年も継続。
- ★上古寺地区で400年以上続く秘祭「エンエンワ」のサポートや中山間地の集落の在り方を考えるワークショップを行い、コミュニティデザイン的な活動に力を入れた。
- ★さらに、毎年恒例、七夕祭りのサポートもますますパワーアップ。本学留学生も加わり行ったショーは子ども達からも大好評だった。
- ★★

児童教育学科1年、ゾウキリンくらぶ (地域連携・環境研究所が企画運営)

「緑のバトン運動」に参加—千年先の子どもの幸せを願って

全国の子供たちが学校で育てた苗木を被災地に植樹する「緑のバトン運動」。本学も「地域連携・環境研究所」の事業として企画運営、昨年度からこの運動に参加。ゾウキリンくらぶの学生が、苗木300本を学生、教職員に配布したり、学内で育てたりしてきた。そして、苗木配布から約1年後にあたる6月末、ゾウキリンくらぶの学生10名、児童教育学科の学生21名、教職員4名で植樹ツアーを実施した。1日目にあたる6月28日は、宿舎である蔵王自然の家で勉強会を開催。釜石小学校の渡邊前校長が、被害者を一人も出さなかった「釜石の奇跡」をお話しくださった。翌29日は、宮城県岩沼市「千年希望の丘公園」にて植樹を実施。当日は、りそな銀行のボランティアグループや地元の中学生と一緒に植樹を行った。



横須賀学長も駆けつけ、千年先の子どもの幸せを共に願った。植樹後は津波の被害を受けた閑上中学校の慰霊碑、閑上小学校の旧校舎・体育館(津波の遺留品置き場)を訪れた。多くの遺留品を目にし、震災の記憶を伝えること、被災地支援を続けることの大切さを実感した。学生にとっても教職員にとっても貴重で得難い2日間となった。

ゾウキリンくらぶ 「子ども大学しき」・「子ども大学にいざ」をサポート

子ども大学 しき(小学4~6年 30名参加)

私は就職先として、児童福祉に関わることを希望しているものの、今まで子どもと関わる機会があまりなかった。そこで、子ども大学を通して、子どもと関わる経験を重ねたいと思い、本事業に参加。最初は、対応に戸惑うこともあったが、徐々に打ち解けることができ、私も子どもたちも毎回笑顔でいられたことが何よりも嬉しかった。4回のサポートを通して、子どもたちに、「子ども大学に参加して良かった」としてもらえるように、また、各回、何か一つでも子どもたちが学んだ実感を得ることができるように、子どもたちの自主性に合わせてサポートすることを心掛けた。(人間福祉学科 2年 粕谷しずの)



日程	会場	内容	担当
7月5日 (土)	十文字学園 女子大学	入学式 講義1【生き方学】 講義 地元の野菜を知って食べて、野菜博士になろう	ベジフル・ティーチャー 榎本房枝先生
7月12日 (土)	いろは遊学館	講義2【生き方学】 調理実習 地元の野菜を知って食べて、野菜博士になろう	ベジフル・ティーチャー 榎本房枝先生
9月7日 (日)	いろは遊学館	講義3【ふるさと学】 発見！志木市のいいね！みんなでつくろう「New志木マップ」	※特別講義 三枝晃男先生(三枝農園)
10月4日 (土)	いろは遊学館	講義4【はてな学】 炎のサイエンス～知ってトクする！生活を豊かにする火のお話～ 修了式	大東ガス株式会社 鈴木翔大先生



子ども大学 にいざ(小学4年~6年 36名参加)

初回にあたる9月13日、私たちは子どもたちのグループに補佐役として参加。ビジネスゲームでは、一回一回の結果を分析して次につなげ、工作では、1枚の紙をどんなふうにしたせるか、みんな思い思いに想像力を働かせていた。そんな子どもたちの様子に、驚かされたり、おもしろいと感じたりした。

私も気がつけば作業に夢中。帰るときに自分の作品を崩さないよう苦心する様子に、ほっこりした気持ちになった。今回の体験が、子どもたちにとって少しでもいい思い出になればと思っている。(人間福祉学科 1年 茅谷麻彩)

日程	会場	内容	担当
9月13日 (土)	十文字学園 女子大学	入学式 講義1【生き方学】 ビジネスゲームで利益をあげよう 講義2【はてな学】 紙が立つ・・・不思議体験	本学 星野敦子教授 本学 平田智久教授
9月27日 (土)	十文字学園 女子大学	講義3【ふるさと学・はてな学】 植物と仲良しになろう 講義4【はてな学】 オカリナを知ろう	雑木の会 島田保先生 雑木の会 谷合宜明先生
10月11日 (土)	十文字学園 女子大学	講義5【ふるさと学・はてな学】 雑木林の植物たち 講義6【はてな学・生き方学】 雑木林でオカリナを吹いてみよう 修了式	雑木の会 島田保先生 雑木の会 谷合宜明先生

ゾウキリンくらぶ 石巻プロジェクトに参加

8月23日から8月25日、2泊3日の日程で、宮城県石巻市を訪れた。今回のプロジェクトは、新座市栄4丁目商店会の皆さんと連携して実施。風評被害対策を進めるべく、水産物の安全性の確保について理解を深めた。施設見学やワークショップを通して、現地の方々の気持ちや復興についての想いをはじめ、たくさん学ぶことができた。
(人間福祉学科 1年 阿左美愛帆)



ゾウキリンくらぶ 森の子くらぶサポーター

新座市内の小学4~6年生が参加する「森の子くらぶ」。フィールドは雑木林。竹とんぼを作ったり、ロープワークを行ったり、さらには、泊りがけのキャンプもあったりと、自然に親しむ活動が盛りだくさん。今年のリーダーは、生活情報学科2年の橋本麻衣子さん。左の写真は「からだものさし」の回。参加した橋本さんは、「皆が協力して活動出来たので、子どもたちもとても楽しそうでした」と語る。

いもプロ 2014年の活動を振り返る —被災地支援のためのスイーツ販売—



メンバーを募り、スノーボールの試作品を作る。学内で試食会を実施。経費節約のため、ラッピングを工夫した。

調理ではハプニングが続出！分離が起こり、多くを廃棄することに。初めての販売は新座市産業フェスティバル。なかなか購入してもらえない。活動の趣旨を懸命に説明することでやっと手に取ってもらえる。コミュニケーションの大切さを学ぶ。加須市の騎西銀杏祭でも販売し、ここでの売り上げは加須ふれあいセンターに寄付。



野火止用水ご当地グルメ・ゆるキャラ®フェスティバルに参加。販売ブースが奥になるというハンディがあったが、「一歩前に行く勇気」を合言葉に、見事完売！



スノーボールを販売し、集まった義援金は26万円。

1月5日、福島県双葉町の半谷 淳教育長が予定を変更して、加須市騎西総合支所内の双葉町の埼玉支所に義援金を受け取りに来てくださった。たくさんの方々の思いのこもった義援金を双葉町の教育のために使っていただくためにお渡しすることができた。



大学開放・地域連携推進センター主催事業

実施報告

※ 子ども大学については、前ページを参照

開催日時	講座名	講演者	担当	参加者数
5月31日(土) 13:30~15:30	十文字学園女子大学公開講座 「宝塚の歴史と楽しみ方」	日向薫氏(元宝塚歌劇団)	加藤暁子 准教授	約220名
7月26日(土) 13:30~15:00	十文字学園女子大学公開講座 「これだけは知っておきたい相続税の基礎知識」	加藤順弘教授(生活情報学科)	星野敦子 教授	53名
8月30日(土) 13:30~15:00	十文字学園女子大学公開講座 「特別支援教育の新たな前進」	上野一彦氏(東京学芸大学名誉教授、日本心理研修センター理事)	岩井雄一 教授	69名
10月25日(土) 13:30~15:00	桐華祭講演会 「『伝える』ということ」	松平定知氏(元NHKエグゼクティブアナウンサー・京都造形芸術大学教授)	司会:好本 恵特任教授	222名
各回 13:30~15:00	新座市内大学公開講座「文芸世界への招待状~四季物語~」			
11月1日(土)	春の章 「巨匠たちとエコロジー—ロシア文学の自然誌—」(小林実准教授)		表現文化 学科	146名
11月15日(土)	夏の章 「夏の夜の笑い—文学から学ぶ英国式ユーモア—」(落合真裕講師)			
12月6日(土)	秋の章 「味ことばの100年史—おいしい日本語いまむかし—」(星野祐子講師)			
12月13日(土)	冬の章 「王朝文学の冬の風景—清少納言が見た雪—」(赤間恵都子教授)			
11月29日(土) 13:30~15:00	十文字学園女子大学公開講座 「子育て支援の現状と地域的課題」	福田智雄教授(人間福祉学科) 坂本純子氏(NPO新座子育てネットワーク代表理事) 福田祐里氏(「福祉の里児童センター」館長代理)	栗原直樹 教授	47名

編集後記

ニュースレター第3号をお届けいたします。ご投稿くださった皆様、発行が遅くなり申し訳ございません。今年度、本学は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、地域とつながる活動が様々な展開されています。「+(プラス)となる人づくり、街づくり」がコンセプトの本事業。地域をキャンパスにした活動について、何か情報がございましたら、各学科の大学開放・地域連携推進センター運営委員までご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



担当 表現文化学科 星野祐子 社会交流支援課 高田佳織

本学マスコットキャラクター
プラスちゃん